

第 105 回関東学生陸上競技対校選手権大会ハーフマラソン

競技注意事項

2026. 3. 25 時点

1. 規則について

本大会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項および大学対抗ペアマラソン大会競技注意事項、同大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技者の招集について

- 1) 第 1 次招集は、大学生更衣室・大学監督控室横の関東学連テントにて、7 時 30 分から開始し 7 時 50 分に完了する。各大学の代表者 1 名は欠場者がいる場合その場で申告し、欠場者割り当て分を除いたアスリートビブスを配布する。
- 2) 最終招集はスタート地点にて 9 時 30 分から開始し、9 時 40 分に完了する。最終招集は必ず競技者本人が受けること。

3. 競技方法について

- 1) スタート並び順は番組編成順に男子 1 部、男子 2・3 部で別れて並ぶこと。（詳細は別紙を参照）
- 2) 競技中、身体の故障により競技を続けることが困難となった場合は、最寄りの競技役員に申し出て、指示を受けること。
- 3) 競技者がコースから離脱した場合、その後の競技続行は認めない。
- 4) 競技者が飲食物を予め携帯することは認めない。
- 5) 競技者は主催者が用意する給水を除き、競技中にいかなる助力も受けてはならない。ただし、競技役員が状態を確認したり、安全を確保したりするために一時的に競技者の身体に触れても助力とはみなさない。
- 6) フィニッシュした競技者は立ち止まらず、競技役員の指示に従い直ちに競技エリアから退場する。
- 7) 自動車、自動二輪車、自転車等の車両、あるいは人による伴走は一切認めない。違反が判明した選手失格処分の対象とする。
- 8) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。

4. アスリートビブス・計測チップについて

- 1) アスリートビブスは 1 名につき 2 枚配付する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。
- 2) アスリートビブスはシール式。（会場の都合により安全ピンは使用厳禁）
- 3) アスリートビブスをはがす際は、ユニフォームが完全に乾いた状態で、ゆっくり剥がすこと。（粘着剤がユニフォームに残ってしまうため）
- 4) アスリートビブスの地色、数字の色は次表の通りとする。

部門・種目	アスリートビブス
男子 1 部	白地×黒数字
男子 2 部 (51~200)・3 部 (251~260)	黄地×黒数字

- 5) 計測チップは左右のシューズそれぞれに確実に装着すること。
- 6) 計測チップは競技終了後、返却不要のため持ち帰ること。

5. 欠場について

エントリー後、病気または事故等により、やむなく欠場する場合は、本連盟ウェブサイトに掲載をしている欠場届を印刷し、必要事項を記入、押印したものを指定アドレス (kanto-entry@kgrr.org) に送信すること。

6. 表彰について

- 1) 男子 1 部の選手権獲得者および男子 2 部優勝者には優勝杯、3 位までの入賞者にはメダル、8 位までの入賞者には賞状を授与する。

- 2) 男子 1 部・2 部の 3 位までに入賞した競技者は、第 105 回関東学生陸上競技対校選手権大会 4 日目に表彰を行う。対象校には後日連絡をする。
- 3) 表彰を受ける際は、上は各校の公式 T シャツあるいはジャージ、下は公式ジャージを着用すること。また、必ずアスリートビブスも着用すること。
- 4) 代理表彰は一切認めず、不在の場合は空席として表彰を行う。
- 5) 男子 1 部・2 部 4 位から 8 位までに入賞した競技者および男子 3 部の 3 位までの入賞者は第 105 回関東学生陸上競技対校選手権大会期間中に大会インフォメーションで賞状を受け取ること。

7. 対校得点および順位

得点は、男子 1 部・2 部は 1 位 8 点から 8 位 1 点まで 1 点刻みとする。また、男子 3 部は、1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点とする。同順位により、対校得点を割る場合には小数計算(ただし、同順位が小数計算で算出できない場合は分数計算とする)を行う。その計算は、記録・情報処理員が行う。

8. 商標等について

競技者が競技エリアに商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、日本陸上競技連盟の「競技会における広告および展示物に関する規程(国内)」を遵守すること。基準をこえる商標や競技役員から指導・指摘された場合は、必ずテープ等を貼って隠すこと。

9. 応急処置の手配について

競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2026 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

10. その他

- 1) 競技終了後は、必ずミックスゾーンを通ること。
- 2) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。
- 3) 荷物は各大学で責任をもって管理すること。盗難、遺失に関して主催者は一切責任を負わない。

一般社団法人関東学生陸上競技連盟